

いろんなところに都市ガスが

都市ガスユーザーインタビュー

社会福祉法人 北伸福社会理事長 北本廣吉 氏

「希望・敬愛・報謝」を経営理念に、高齢者福祉施設「朱鷺の苑^{とき}」や児童養護施設「あすなろ学園」などの福祉事業を展開している社会福祉法人 北伸福社会（以下、同法人）様。金沢市内を中心に20カ所超の「朱鷺の苑」グループの施設を開設し、利用者は年間のべ50万人を超える。

施設の多くに空調、給湯、厨房、床暖房などの都市ガス設備や天然ガス自動車を導入している同法人の理事長にお話を伺いました。

57歳での転身

私は57歳でそれまで全く知識のなかった福祉の道へ進みました。きっかけは「早起きは三文の得、まちの中をきれいにしよう」と、これまでやっていた運送事業をやめ、早朝のゴミ収集事業（環境事業）を新たに始めたことです。運送事業の売却で得たお金を全額寄付しようと考えたんですが、「せっかくなら社会の役に立つこと、福祉事業を自分でやってみたらどうだ」と言われ、現在に至っているんですよ。

好きなときに好きなことができる

私は四六時中、いかにご利用者に快適に過ごしていただくかを考えています。初めてケアハウスを開設したときにも、当時はまだ珍しかった全室個室型としました。そして、毎日、温泉に入って元気に

過ごしていただきたいという思いから、敷地内で温泉を掘り、今では全施設に温泉を供給しています。しかし、単に「温泉があります」というだけではだめ。一人で入りたい人もいれば、みんなで入りたい人もいます。朱鷺の苑では大浴室とともに、一人で入れる浴室があります。「好きなときに、好きなことができる」、これが大切なんです。

真の節約とは

また、ご利用者にいつも快適に過ごしていただきたいという思いから、朱鷺の苑では床暖房を導入しています。床暖房は確かに導入コストがかかる。しかし、それに代えがたい安全・安心・快適さがある。真の節約とは抑えるべきところは抑え、使うべきところに使うこと。それぞれの特徴、個性を見極めることが

朱鷺の苑 やわらぎ
(金沢駅前)



イベントなどにも使われるホール。こちらにも床暖房が導入されています。



天然温泉の大浴室



風呂、トイレ、ミニキッチン完備の居室



ご利用者の交流の場にもなる食堂

大切なんです。例えば、稼働率の低い部屋に床暖房を導入しても無駄なだけ。朱鷺の苑では、24時間ご利用者が滞在する施設では大部分に、特定の時間のみ利用する施設では着替えをするときに快適であるように脱衣室にと、それぞれの特徴にあわせて床暖房を導入しています。

地球にやさしいエネルギー

満州での荒れ地開墾からはじまった酪農経験で、自然のエネルギーはすばらしい、役に立つと強く感じました。だから、私は環境への配慮という考え方が一般的ではなかった30年前から自然のエネルギーを活用しようと、ソーラーシステム、太陽光発電と次々に自然エネルギーを活用してきました。

また、「人にも地球にもやさしい」ことが重要で

あると考えています。だから、地球にやさしいエネルギーを活用している天然ガス自動車や都市ガスを積極的に施設に導入しているんですよ。

時代に先駆けた取り組みの秘訣

私は何にでも興味を持ち、思いついたことは何でもやってみたくなる。そこで、私は日頃からみんなと協議する。そうすると周りが知恵をつけてくれるんです。やるとなったら投資を惜しまない。そして、全身全霊で取り組む。これまでどの分野でも、いつも全身全霊で取り組んできました。私は常々、周りの者に「死ぬまで死なない」と約束しています。今、88歳。100歳になるまで4000日以上もあります。だからまだまだ何でもできる。これからも、どんどんいろんなことをやっていきますよ。



プロフィール ● きたもと ひろきち

1925年生まれ。満州で大地主になって親孝行したいという思いから、15歳で満州へ渡る。19歳で入隊、2年半のシベリア抑留からの引き上げ後、満州での経験をいかし酪農を始め、運送業を経て福祉分野へ。朱鷺の苑の運営の中で時代に先駆けた数々の斬新な取り組みを続けている。

朱鷺の苑に導入いただいているガス温水式床暖房。朱鷺の苑スタッフの方によると「ご利用者からも足腰が冷えず快適」との声をいただいています。」とのことでした。

ガス温水式床暖房のことならお気軽に
営業開発課 ☎0120-888-240 月～金曜日(祝日を除く) / 9:00～17:45

